

【報道関係者各位】

2011年7月25日

こどもたちに、おもちゃで笑顔を!!

**ケイドロ専用玩具『ケイドレーダー』で、公益財団法人日本レクリエーション協会
主催の東日本大震災 被災者レクリエーション支援事業に協力しました。**

株式会社ハピネット

この度 株式会社ハピネット（本社：東京都台東区、代表取締役社長：苗手一彦）は、公益財団法人 日本レクリエーション協会が行う被災者支援事業「ネイチャー&レクリエーション楽宿（がっしゅく）」に、ケイドロ専用玩具『ケイドレーダー』を提供します。

「ネイチャー&レクリエーション楽宿」は、福島県内の特定の地域に在住する子どもたち（小学3年生～6年生）を対象に、夏休みの一定期間、放射線を気にせずに屋外で思い切り遊べる宿泊プログラムで、8月1日～3日、8月4日～6日、8月7日～9日の3回に分けて、国立磐梯青少年交流の家（福島県猪苗代町）にて実施されます。日ごろ外遊びを制限されている子供たちに向けて、大学生などを含むボランティアの方を中心にさまざまな遊びや自然体験などを行うなか、ケイドロ専用玩具『ケイドレーダー』を使った遊びも体験していただきます。

『ケイドレーダー』は、ケイサツとドロボウに分かれて遊ぶ鬼ごっこ“ケイドロ”を、より楽しく遊べる玩具です。腕に装着し、チームや時間をセットしたらゲームスタート。隠れている敵を、ケイドレーダーから発信される電波信号でキャッチし、敵の接近を音と光で警告します。電波の届く範囲は最大約30m、最大40人までプレイできます。

福島県では、東日本大震災による大津波の被害、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により甚大な被害を受け、避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている子どもたちが大勢います。それに加え、高いレベルの放射線量により、子どもたちは屋外での活動が制限され、心も体も大きなストレスを受けています。日ごろ外遊びを制限されている子どもたちにとって、野外におけるさまざまなスポーツや遊びなどのレクリエーション活動や、異学年、他の小学校の児童との交流は、子どもたちの心と体のケアだけでなく、大切な夏休みの思い出となることでしょう。

【笑顔 Again】プロジェクト 『ネイチャー&レクリエーション楽宿（がっしゅく）』

- 日程
 - 第1期：8月1日(月)～3日(水)
(宿泊棟1泊、キャンプ場1泊)
 - 第2期：8月4日(木)～6日(土)
(キャンプ場1泊、宿泊棟1泊)
 - 第3期：8月7日(日)～9日(火)
(宿泊棟2泊)
- 場所（宿泊） 国立磐梯青少年交流の家
福島県耶麻郡猪苗代町字五輪原136-1
- 対象 小学3年生～6年生
- 定員 各期60名（60名×3期）
- 参加費 2,000円（保険代、食事代の一部を含む）
- 主催 公益財団法人日本レクリエーション協会
- 共催 NPO法人福島県レクリエーション協会
- 後援 福島県、福島県教育委員会

※募集は、定員に達したため終了しています

■ お問い合わせ先 公益財団法人 日本レクリエーション協会
【笑顔 Again】プロジェクト 『ネイチャー&レクリエーション楽宿（がっしゅく）』
TEL：03-3265-1244 FAX：03-3265-1852

■ ケイドレーダーに関するお問い合わせ先
株式会社ハピネット トイ・オリジナルユニット 担当：酒葉佳代子
TEL：03-5828-6351 FAX：03-5828-6353 e-mail：sakaba@HSN.happinet.co.jp